

# ひろば 大代

No.540

令和6年7月号

大田市の人口  
(R6.7.1現在)  
大田市 31,769人  
内大代町 289人  
男 135人  
女 154人

## あすはわが身と災害に備えた訓練を

柿田 横手新治郎

「ガリガリ〜」と火災報知器が鳴り出し、避難訓練の始まりです。予め時間を決められ、「ゆっくり、安全に注意して、センターの外に集合すること」と説明を受けていたのですが、火災報知器がけたたましく鳴り出すと、冷静さを失い、小走りになりながら、決められた場所から外出を始めたものの、落ち着きがなくなり、慌てるのを抑えきれない時間でした。そして、人数の確認、遅れたり、体調の異常のないことを確認されました。この度は、まちセン職員さんと、えびすの会への参加者、スタッフの皆さんの避難訓練

でした。訓練に立ち会った大田消防署職員さんの講評では、安全に十分注意されていたと好評価でした。

次は、火災現場での消火器の使用訓練です。まず第一は、火災場所に消火器を持ち込み、「火災の発生を大声で付近に伝えること」。そして「ピンを抜き」、「ホースの筒先を火元に向け」、「ハンドルをにぎること」と消防署職員さんの説明でした。粉末は15秒と短い時間の噴射で、無駄なく消火効果をあげることが肝心と説明がありました。訓練では理解できても、いざ火災現場に着いた時、実践できるためには、平素の訓練が大切です。この度の訓練は、粉末の代わりに水を入れた訓練用の消火器による操作を確実にするための訓練でしたが、火災では粉末が有効かどうかも問われます。粉末の有効期間は10年となっているようですので、まずは期限内かどうかの確認が必要との注意がありました。このような日ごろの訓練、使用方法を確認するなど心かけることが、被害を少なくし、人命の安全につながることに感じました。

今年の元日早々に発生した能登半島地震は、報道されたことしかわからないのですが、実際に遭遇された住民の方々の不安は想像を絶する事態であったと思われまます。

災害は忘れた頃にやってくると言われ、各地、職場などでの訓練が報じられています。地震災害はいつ発生するかわからない。備えあれば憂いなし。まちでも、すぐできることから始めたいものです。

## えびすの会避難訓練

えびすの会スタッフ 中垣裕子



6月27日 えびすの会で避難訓練が、消防署の方2名とまちセンの職員さんとえびすのスタッフでありました。火事を知らせるベルが鳴り、広間から避難経路で、外の駐車場に避難しました。「皆さんとても早い避難でした。」と消防署の方も褒めておられました。その後消火器を使い消火訓練、初期消火、火災感知器等の話しを署員さんから聞きました。消火器の薬剤は15秒

くらいしか出ないので、火元に少し近づいてから使用するとよいそうです。

身長くらいまでの炎しか消火器での消火はできないので、それより炎が大きければ直ぐ避難だそうです。年数が経ち消火器の底が錆びていたりすると、使った時に底が抜けたりするそうです。

火災感知器は、寝室が二階の場合は二階の階段近く、少し離れた部屋はその途中の天井に取り付けるとよいそうです。火災感知器は電池交換が必要で、壊れていたらホームセンターで購入できるところです。連動で鳴る火災感知器もあるそうです。

一人の署員さんのお宅には、色々な箇所に取り付けてあるそうです。私の心の声（すげすぎ！）

「火事を知らせる」「初期消火」「現場からの避難」大変良い勉強になりました。ありがとうございました。



## 消防訓練に参加して

えびすの会スタッフ 渡利マサコ

先日、えびすの会で消防訓練が行われました。私も参加させて頂きました。前もつての連絡があったのか、利用者さんも落ち着いて行動されていました。本場の火事にあえば、私も皆さんも足がすくみ、何もできなくなると思いますが、昔からのことわざにもあるように、「マツチ一本火事のもと」皆さんで気を付けましょう。

## 避難訓練

えびすの会スタッフ 竹間初美



6月27日のえびすの会では避難訓練があり、消防署から二人来られ、まちセンの方も一緒にベルを合図に外へ出られる方はまちセン横に避難し、スタッフは人数点検し報告しました。混雑しないか心配していましたが、皆さん速やかに避難され安心してました。消防署の方が消火器の説明をされ使い方の実践もあり皆さん落着いて上手に放

水しておられました。改めて火事を出さないよう気を付けようと思います。又、梅雨時期は災害発生が多いので早めに避難しましょう。



## 陶芸体験

上市 岩切美菜子

去年の陶芸教室がとても楽しかったので、今年もまた参加してきました。今年はコーヒーカーップを2作品挑戦してみました。

イメージしていても、実際に作ると思い通りにならなかったりしましたが、講師の先生に助けってもらいながら



とか完成しました。

余計なことを考えず、無になったりしながら物作りに集中するというのが、とてもいいリフレッシュにもなり、参加してとても良かったです。

あとは無事に焼けて完成してくれたら、おいしいコーヒーを入れて飲みたいです。



## 窯芸教室に参加しました

八反田 長谷保孝

大田三中で開催された窯芸教室に昨年に引き続き参加しました。昨年は初参加ということもあり、「もしかしたら隠れた才能が開花するかも？」という淡い期待を持って、意気込んで参加しましたが、あっさりと才能がないことがわかり撃沈。今年は「せめて昨年

よりはいい作品を作ろう」と謙虚な気持ちで臨みました。

昨年は湯呑とサラダボウルを作りましたが形が悪く色ムラもあり、とてもお見せできる代物ではありませんでした。今年は湯呑を2点作りました。今回はいろいろな道具を使い、できるかぎり形を整えました。特に仕上げではステンレスボウルの底を使い、飲み口を真円にしたことで、見た目と口あたりがぐんと向上したのではないかと思います。

釉薬塗りは8月末に予定されていますが、今回は筆は使わず、TVなどで陶芸家がやっているようにどつぷりと釉薬に浸して、ムラのないきれいな仕上がりを目指してみたいと思っています。ちなみに色は明るい緑にしようと思っています。

今回の教室では40人の参加募集がありました。三中の立地の関係からか、大代町からの参加者が少なく、少し寂しく感じました。来年も開催されたら大代からも沢山の方が参加されることを願います。

今年の茶碗が完成したあかつきには、その器で大代名産の「お茶女健康茶」をおいしくいただくと思っています。



## 八反田川のホタル



八反田 中垣昌人

八反田川に今年もホタルが飛びました。気温が二十度ほどの風の無い夜、私はホタルを眺めに行くのがこの時期の日課になっています。

ホタルが川沿いに舞い、時には田んぼから我が家の庭先の竹林にまで飛び交ってくれます。毎年なんとなく、「今年も飛んでくれるかな」と想いを馳せ、その光を見つけるとなぜかホッとした安ど感に包まれます。「あゝ、今

年も無事に見ることができた」と。

飛び始めには数も少なく、恐る恐る遠慮がちにそつと漂っていたホテル達も、次第に数を増し勢いよく飛びまわります。時には同居の孫らも連れてその輝きを一緒に観賞します。「わく、きれい！すごい！」とはしゃいでくられる姿をほほ笑ましくも見ています。そういえば、私の子ども達とも一緒に眺めていたな。ホテルにとってみれば大昔から続く当たり前の生存活動なのでしようが、私にはなぜか感慨深い光の帯に思われてしまいます。

世代を越えてこの環境が変わらずここにあるからこそそのホテルの景色なのです。それをしみじみと感じる歳と なってきたのでしょうか。

私が好きな元オフコースの鈴木康博さんの「コンニチハ貴き故郷」という歌に「・・・梅雨の少し前 限られた季節 蛍の見られる里 貴き故郷・・・ここがずっと子どもの田舎であって欲しい この先の世代への 貴き故郷」との歌詞があります。私はこの地に暮らしています。今も変わらずここで。そしてこれからも。

### 俳句

#### あすなる句会

川上 岩田律枝

夏菊をぶっか仏花に切りて安堵せり

独り居や夜の無言しじまに時鳥ほととぎす

井田 山田松三郎

玄関ひきがえるに姿勢正しき 暮

咲き始そむるダリア大雨警報下

上市 横田美恵子

畑の中転がる胡瓜腕のやう

山百合の匂ひ漂う田舎道



### 大代地区社協よりお知らせ

四日市 鈿 昭人 様

綾子 様 が亡くなられ

鈿武志様、鈿弘隆様、本山典子様より

香典返しにかえ御厚志を頂きました。

厚く御礼申し上げます。

### 8月行事予定

▼12日(月) 都市交流夏祭り

▼22日(木) 連合自治会

▼26日(月) お楽しみ会

▼27日(火) 胃がん検診 13時30分

### えびすの会

▼1日・8日・22日・29日(木)

9時30分～11時30分

※行事は延期・中止になる場合があります。

8月19日(月)9時30分よりまちセンター20目の井戸端会議開催します。

### 都市交流夏祭りについて

8月12日(月)16時30分開催

旧大代小学校体育館



大江高山神楽社中による上演、バンドの演奏(カラオケ参加者募集)中学生以上参加のポン菓子早食い競争、花火大会をします。出店もあり、ミニ同窓会も同時開催の予定です。

